

2025年度

# 授業計画書

Syllabus

埼玉東萌美容専門学校

# 目 次

## 1年次(2025年度入学者用)

### 【必修課目】

関係法規・制度	4
衛生管理	6
保健	9
化粧品化学	12
文化論	14
技術理論	16
美容実習(1年前期)*	19
美容実習(1年後期)*	25

### 【選択課目】

人文科学	30
美容サロンワーク*	33
美容ケア(メイク)*	36
美容ケア(ネイル)*	38
創作美容*	40
美容モード理論*	42

## 2年次(2024年度入学者用)

### 【必修課目】

衛生管理	46
保健	48
化粧品化学	50
文化論	52
技術理論	54
運営管理	57
美容実習(2年前期)*	59
美容実習(2年後期)*	65

### 【選択課目】

美容サロンワーク*	70
美容ケア(メイク)*	73
創作美容*	75
美容モード理論*	77
美容総合技術*	80

\* 実務経験のある教員による授業課目

# 1 年 生

(2025年度入学生用)

## 【必修課目】関係法規・制度

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	関係法規・制度
開講年次	1年次（後期）
授業時間（単位）	30時間/1単位
担当者	嶋田律子
区分	必修
授業形式	講義
資格対応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法規・制度（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・美容師法関係法令集（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	法制度の概要を理解したうえで、わが国の衛生行政のしくみ、美容師法・施行令・施行規則について理解を深めるとともに、美容業に関する法律・制度について学習する。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・毎授業後に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容師の資格は法律により規定され、美容師に必要な法知識を習得する必要がある。関係法規では、法制度の概要からわが国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する。また、美容師について必要とされる関連の法規についても知識を深めることとする。	
到達目標	法制度、衛生行政、美容師法、関係法規を理解することにより、美容師が持つ社会的責任の重さを理解し、顧客に対し責任を持って業を行うという職業意識を育成していく。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

## 【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	法制度の概要	法の役割・法とは何か・法の実際	嶋田
3～4	衛生法規の概要	衛生法規の意義・分類・概観	嶋田
5～6	衛生行政の概要	国と地方の行政・衛生行政の意義と歴史・衛生行政の動向	嶋田
7～8	衛生行政の種類と行政機関	衛生行政のしくみ・保健所の役割と機構	嶋田
9～10	美容師法	美容師法の目的と歴史・美容師法の構成	嶋田
11～12	用語の定義	美容・美容師・美容所	嶋田
13～14	美容師	美容師養成制度・美容師試験・免許と登録	嶋田
15～16	美容師	管理美容師・業務に従事する美容師の義務	嶋田
17～18	美容所	美容所の開設	嶋田
19～20	美容所	美容所開設者が講ずべき衛生措置・美容所以外での業務	嶋田
21～22	立入検査	立入検査・環境衛生監視員	嶋田
23～24	行政処分	行政処分・行政処分手続き・審査請求・異議申立て	嶋田
25～26	罰則・関係法規	罰則・生衛法・地域保健法	嶋田
27～28	関係法規・まとめ	感染症法・労働基準法・消費者基本法・美容師法の課題	嶋田
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	嶋田

【必修課目】衛生管理

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	衛生管理
開 講 年 次	1年次（前期後期）
授 業 時 間（単位）	60時間/2単位
担 当 者	大場利良
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	・衛生管理（公益財団法人 日本理容美容教育センター）
	・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）

授業の概要	公衆衛生の歴史・環境衛生の現状を学習理解し将来の方向性を考察する。美容の業務内容と感染症予防を理解し、衛生管理技術での物理的方法（熱・紫外線）、化学的方法（種々の消毒薬）の基本的な消毒技術を習得する。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・消毒技術では器具・用具他の消毒の実践を行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美と健康に関わる職業人として、人々の健康づくりに寄与出来る知識を学び（特に美容師と公衆衛生の関係を学ぶ）、健康への理解を深める。人の生活環境には、無数の微生物が生息している。これらの微生物すべてが感染症の原因となるわけではないが、環境状態によっては重い感染症の発病に結びつくことがある。多数の顧客を施術する美容師はいかなる場合においても感染症を媒介させることがあってはならない。よってこれらの微生物を取り除く方法を理論と実践にて総合的に理解させる。	
到達目標	美と健康に関わる職業人としてより安全・適切な感染症予防方法を自ら選択することができるようになり、かつ美容業を行うために不可欠な衛生管理技術についての能力を養い美容師が持つ社会的責任を持って業を行う職業意識を育成する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	公衆衛生の意義と課題	公衆衛生とは何かを考える	大場
3～4	公衆衛生の発展の歴史	欧米と日本の公衆衛生の歩み・消毒法の歴史	大場
5～6	美容師と公衆衛生	公衆衛生とは美容師の関わり	大場
7～8	保健所と美容業	保健所の機能と事業	大場
9～10	保健	母子保健・成人・高齢者の保健・精神保健	大場
11～12	環境衛生の概要	環境衛生の目的と意義・環境衛生活動	大場
13～14	空気環境	空気と健康・温度、湿度、気流と健康	大場
15～16	衣服・住居の衛生	衣服・住居の衛生	大場
17～18	上・下水道と廃棄物	上・下水道と廃棄物	大場
19～20	衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫・ネズミ・水質汚濁	大場
21～22	人と感染症	感染症発見の歴史、感染症と法律	大場
23～24	人と感染症	感染症の分類	大場
25～26	病原微生物	微生物の種類・構造、形と大きさ	大場
27～28	病原微生物・感染症の予防	微生物の増殖と環境の影響、微生物の病原性	大場
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	大場
31～32	感染症の予防	人の感受性、免疫と予防接種、感染症発生の要因と予防	大場
33～34	主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症	大場
35～36	主な感染症	飲食物を介して感染する感染症	大場
37～38	主な感染症	血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症	大場
39～40	具体的な対策の例	標準予防策、疾患を持つ客への対応法	大場
41～42	消毒の意義	汚染、感染、発病の意義 殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義	大場
43～44	美容の業務と消毒の関係	消毒を怠った場合の危険性と美容師の責任	大場
45～46	消毒法と適用上の注意	消毒法の種類、消毒に必要な条件	大場
47～48	理学的消毒法(殺菌法)	紫外線、煮沸、蒸気、その他による消毒	大場
49～50	化学的消毒法(殺菌法)	アルコール類、塩素剤、界面活性剤による消毒	大場
51～52	化学的消毒法(殺菌法)	グルコン酸クロルヘキシジン、その他の消毒薬	大場
53～54	すぐれた消毒法と実践の注意	消毒を行う際の注意事項	大場

55～56	消毒法実習	各種消毒薬の概要、消毒薬希釈法	大場
57～58	消毒法実習	美容所の消毒の実際・美容所における衛生管理要領	大場
59～60	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	大場

## 【必修課目】保健

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	保健
開 講 年 次	1年次（前後期）
授 業 時 間（単位）	60時間/2単位
担 当 者	松岡実希
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格
教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul> 参考文献：保健体育編・体育編（文部科学省）

授業の概要	教科書に沿い、日常的な話題や自身の身体と比較しながら、具体的なイメージに導き理解を深めていく。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業上の特徴から、一般の人以上に「人体の構造及び機能」や皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」についての知識が求められる。そのための基礎を学ぶ。	
到達目標	美容師に必要な「人体の構造及び機能」や「皮膚科学」について理解でき、基礎として身につける。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	頭部、顔部 頸部の体表解剖学	人体各部の名称	松岡
3～4	頭部、顔部 頸部の体表解剖学	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	松岡
5～6	骨格器系	骨の種類と構造・骨の連結	松岡
7～8	骨格器系	骨格器系とそのはたらき	松岡
9～10	筋系	筋の種類とその特徴・ 主な骨格筋とそのはたらき	松岡
11～12	筋系	表情筋と表情運動・ 理容・美容の作業と筋疲労	松岡
13～14	神経系	神経の成り立ち・ 中枢神経とそのはたらき	松岡
15～16	神経系	末梢神経とそのはたらき	松岡
17～18	感覚器系	視覚・聴覚・平衡感覚	松岡
19～20	感覚器系	味覚・嗅覚・皮膚感覚	松岡
21～22	血液・循環器系	血液のあらまし・血液循環の仕組み	松岡
23～24	血液・循環器系	血液の循環経路・リンパ管系の仕組みとはたらき 心臓と血管のはたらき	松岡
25～26	呼吸器系	呼吸器系のあらまし・気道	松岡
27～28	呼吸器系・消化器系	肺の仕組みとガス交換・呼吸運動 消化器系のあらまし	松岡
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	松岡
31～32	消化器系	消化管の仕組み	松岡
33～34	皮膚の構造	皮膚の表面・皮膚の断面 ・表皮・表皮と真皮の境	松岡
35～36	皮膚の構造	真皮・皮下組織・皮膚の部位差	松岡
37～38	皮膚付属器官の構造	毛・脂腺（皮脂腺）・爪・汗腺	松岡
39～40	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管・皮膚のリンパ管	松岡
41～42	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の神経	松岡
43～44	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用・体温調整作用 知覚作用と皮膚反射・分泌排泄作用	松岡
45～46	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	呼吸作用・貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用 再生作用・毛のはたらき・爪のはたらき	松岡
47～48	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養 皮膚とし好品・皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態	松岡
49～50	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮と付属器官とホルモン・皮膚の保護と手入れ・毛の保護と手入れ・爪の保護と手入れ・子どものおしゃれによる皮膚トラブル	松岡

51～52	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類・皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法・皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	松岡
53～54	皮膚と皮膚付属器官の疾患	口唇の疾患・温熱・寒冷による皮膚障害・角質異常による皮膚障害・色素異常による皮膚障害・血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤・分泌異常による皮膚疾患	松岡
55～56	皮膚と皮膚付属器官の疾患	化膿菌による皮膚疾患・ウイルスによる皮膚疾患・ウイルスによる皮膚疾患・真菌による皮膚疾患・衛生害虫による皮膚疾患	松岡
57～58	皮膚と皮膚付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防・毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍	松岡
59～60	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	松岡

## 【必修課目】香粧品化学

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	香粧品化学
開 講 年 次	1年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	大場利良
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香粧品化学（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul> 参考文献：新化粧品学（南山堂）・化粧品成分ガイド（フレグランスジャーナル社）
------------------	--

授業の概要	香粧品概論、香粧品原料の項目にて解説する。美容師として業務上使用する香粧品に表示されている配合成分の化学的性質や配合目的などについて学ぶ。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	香粧品に用いられている原料の化学的性質や配合目的などについて学び、各種香粧品の有用性、安全性および使用目的について理解を深める。	
到達目標	美容師として香粧品に関するアドバイスが出来るよう、香粧品の有用性、安全性および使用目的に対する十分な知識を習得する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	香粧品の社会的意義と品質特性	香粧品の社会的意義・品質と必要条件	大場
3～4	香粧品の規制	香粧品の定義・製造販売の規制・品質・表示広告の規制	大場
5～6	香粧品の安定性と取扱いの注意	香粧品の安定性・経時変化・使用上取扱いの注意	大場
7～8	香粧品と安全性	香粧品及び表示成分と安全性・トラブル	大場
9～10	香粧品の対象となる人体各部の性状	皮膚と水・頭皮毛髪の健康な状態・爪、まぶた、唇の性状	大場
11～12	水性原料・油性原料	水・エタノール・油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料	大場
13～14	界面活性剤	界面活性剤の基本的性質	大場
15～16	界面活性剤	界面活性剤の種類	大場
17～18	界面活性剤	界面活性剤の香粧品への応用	大場
19～20	高分子化合物	高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用	大場
21～22	色材	無機顔料・有機顔料・光輝性顔料・天然色素	大場
23～24	香料	香料の種類・調合香料	大場
25～26	その他の配合成分	品質保持に使用される配合成分・配合成分があたえる機能	大場
27～28	ネイル、まつ毛エクステンション用材料	合成樹脂・接着剤・塗料	大場
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	大場

【必修課目】文化論

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程	
所属科	美容科	
教科名	文化論	
開講年次	1年次（後期）	
授業時間（単位）	30時間/1単位	
担当者	大場利良、栗本浩二	
区分	必修	
授業形式	講義	
資格対応	美容師国家試験受験資格	
教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化論（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>	
授業の概要	美容業・理容業の変遷や、日本の文化に於ける多様な美の在り方の歴史を講義形式にて学ぶ。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容業・理容業の歴史及び日本の文化史を学ぶことで、日本の様々な美の価値基準を知り、視野を広げ、創造性を高めることを目的とする。また国家資格の取得に向けて必要な文化史の知識を網羅的に学ぶ。	
到達目標	国家資格の取得に必要な文化史の知識を身に付ける。また、日本の様々な美の価値基準を知った上で、新しいデザインを創造する力を身に付ける。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	イントロダクション、総論	日本の理容業・美容業の歴史（発生～現代）	大場
3～4	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳	栗本
5～6	ファッション文化史 日本編	飛鳥・奈良・平安時代	栗本
7～8	ファッション文化史 日本編	平安時代末・鎌倉・室町	栗本
9～10	ファッション文化史 日本編	戦国、戦国末・安土桃山時代	栗本
11～12	ファッション文化史 日本編	江戸時代①	栗本
13～14	ファッション文化史 日本編	江戸時代②	栗本
15～16	ファッション文化史 日本編	明治・大正・昭和20年まで ①	大場
17～18	ファッション文化史 日本編	明治・大正・昭和20年まで ②	大場
19～20	ファッション文化史 日本編	1945年～1950年代	大場
21～22	ファッション文化史 日本編	1960年代～1970年代	大場
23～24	ファッション文化史 日本編	1980年代～1990年代、2000年代以降	大場
25～26	期末試験の説明、復習	総論、日本の理容業・美容業の歴史、縄文時代～安土桃山時代	栗本
27～28	期末試験の説明、復習	江戸時代～現代	大場
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	栗本・大場

## 【必修課目】美容技術理論

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	美容技術理論
開講年次	1年次（前後期）
授業時間（単位）	60時間/2単位
担当者	大塚日富美
区分	必修
授業形式	講義
資格対応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術理論 1（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジユメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ（基礎理論）を学習し理解することによって、美容技術の習得を容易にする。学んだ事を土台として、トータル的に美容について修得していく。	
到達目標	美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術修得につなげる。美容理論を学び幅広い知識を得ることで、ワロンワークに結び付け応用することが可能になる。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評定はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	技術理論概論	作業姿勢・人体各部の名称	大塚
3～4	美容用具	用具・コーム・ブラシ・シザーズ	大塚
5～6	美容用具	レザー・ピン類・ロッド・ローラー	大塚
7～8	美容用具	ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線機	大塚
9～10	エステティック	概論・皮膚の生理と構造	大塚
11～12	エステティック	カウンセリング・マッサージ理論	大塚
13～14	エステティック	フェイシャルケア技術（フェイシャル・デコルテマッサージ）	大塚
15～16	エステティック	ボディケア技術（ボディマッサージ）	大塚
17～18	シャンプーイング	シャンプーイング概論	大塚
19～20	シャンプーイング	サイドシャンプー・バックシャンプー	大塚
21～22	シャンプーイング	リンス・コンディショナー・トリートメント	大塚
23～24	シャンプーイング	スカルプトリートメント・ヘッドスパ	大塚
25～26	ヘアカッティング	基礎理論・正しい姿勢	大塚
27～28	ヘアカッティング	美容刃物	大塚
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	大塚
31～32	ヘアカッティング	シザー・レザーの扱い方・ベーシックカット技法	大塚
33～34	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法	大塚
35～36	ヘアカッティング	レザーによるカット技法	大塚
37～38	パーマネントウェーピング	パーマネントウェーブ理論	大塚
38～40	パーマネントウェーピング	パーマ剤の分類・注意事項・パーマネントウェーブ技術	大塚
41～42	パーマネントウェーピング	ワインディングの種類・縮毛矯正	大塚
43～44	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは・パーティング・シェーピング	大塚
45～46	ヘアセッティング	カーリング・ヘアウェーピング・ローラーカーリング	大塚
47～48	ヘアセッティング	ブロードライ・アイロンセッティング	大塚
49～50	ヘアセッティング	バックコーミング・アップスタイル・ウィッグとヘアピース	大塚
51～52	ヘアカラーリング	概論・ヘアカラーの種類と特徴・パッチテスト	大塚
53～54	ヘアカラーリング	染毛のメカニズム・毛髪レベルとアンダートーン	大塚

55～56	ヘアカラーリング	アルカリ性カラーの使用道具、手順、準備事項、禁忌事項	大塚
57～58	ヘアカラーリング	酸性染毛料・ヘアブリーチ 使用道具、手順、準備事項、禁忌事項	大塚
59～60	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	大塚

## 【必修課目】美容実習

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	美容実習
開講年次	1年次（前後期）
授業時間（単位）	450時間/15単位
担当者	松岡実希*、大場利良*、大塚日富美*、茅原智美*、佐々木健一* *（*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区分	必修
授業形式	実習
資格対応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容実習1（日本理容美容教育センター）</li> <li>・美容実習2（日本理容美容教育センター）</li> </ul> 参考文献：認定フェイシャルエステティシャン理論と技術 （一般社団法人 日本エステティック協会）
------------------	---

授業の概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基本技術を効率的に習得する。ワインディングとオールウェーブセッティングは美容師国家試験課題に含まれるため重点をおく。シャンプー、ヘアカットティング、エステティック、アップスタイリング等総合的に美容技術を習得する。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて現場経験のある実務家教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。	
到達目標	国家試験課題であるワインディングとオールウェーブの技術力を高める。サロンの現場にて対応できる技術力を的確に蓄積していく。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評定はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】 前期

回	項目	内容	担当者名
1～2	美容用具	美容用具の確認と名称・美容用具の取り扱い方	大塚・大場
3～4	基本技術	スライス・シェーブ・頭部ブロッキング・ウィッグの取り扱い方	大塚・大場
5～6	基本技術	スライス・シェーブ・頭部ブロッキング	大塚・大場
7～8	ヘアカッティング	頭部ブロッキング、カットの基礎知識とシザーアクション	大塚・大場
9～10	ヘアカッティング	頭部ブロッキング、カットの基礎知識とシザーアクション	大塚・大場
11～12	エステティック	エステティック概論、基礎知識	大塚・大場
13～14	ヘアカッティング	モデルウィッグ(ワインディング用)のカット実践の技術、実践	大塚・大場
15～16	ヘアカッティング	モデルウィッグ(ワインディング用)のカット実践の技術、実践	大塚・大場
17～18	ヘアカッティング	モデルウィッグ(ワインディング用)のカット実践の技術、実践	大塚・大場
19～20	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント クレンジング～スチームタオル拭き取り (1)	大塚
21～22	ワインディング	国家試験課題 ブロッキングの展示・実践	大塚・佐々木
23～24	ワインディング	国家試験課題 ブロッキングの展示・実践	大塚・佐々木
25～26	シャンプー	プレーンリンシング展示・実践	大塚・佐々木
27～28	ワインディング	スライス、コーミングの展示・実践	大塚・佐々木
29～30	ワインディング	上巻き展示・実践	大塚・佐々木
31～32	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント クレンジング～スチームタオル拭き取り (2)	大塚
33～34	ワインディング	上巻き展示・実践	大塚・佐々木
35～36	ワインディング	上巻き展示・実践	大塚・佐々木
37～38	ワインディング	下巻き展示・実践	大塚・佐々木
39～40	ワインディング	下巻き展示・実践	大塚・佐々木
41～42	ワインディング	下巻き展示・実践	大塚・佐々木
43～44	ワインディング	下巻き展示・実践	大塚・佐々木
45～46	シャンプー	プレーンリンシング展示・実践	大塚・佐々木
47～48	ワインディング	国家試験課題 センター 展示・実践	大塚・佐々木

49～50	ワインディング	国家試験課題 センター 実践	大塚・佐々木
51～52	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント クレンジング～スチームタオル拭き取り (3)	大塚
53～54	ワインディング	国家試験課題 フロント・左右バックサイト展示・実践	大塚・茅原
55～56	ワインディング	国家試験課題 左右バックサイト・左右ネープ展示実践	大塚・茅原
57～58	ワインディング	国家試験課題 左右ネープ・左右サイド展示実践	大塚・茅原
59～60	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・茅原
61～62	シャンプー	シャンプーイング (ファーストシャンプー) 展示・実践	大塚・茅原
63～64	アップスタイリング	三つ編み・四つ編み・編み込み・フィッシュボーン・ ポニーテール	大塚
65～66	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・佐々木
67～68	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・佐々木
69～70	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント クレンジング～スチームタオル拭き取り (4)	大塚
71～72	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・佐々木
73～74	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・佐々木
75～76	ワインディング	国家試験課題 全頭	大塚・佐々木
77～78	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント クレンジング～スチームタオル拭き取り (5)	大塚
79～80	シャンプー	シャンプーイング (ファーストシャンプー) 展示・実践	大塚・佐々木
81～82	ヘアカッティング	モデルウィッグ(オールウェーブ用)のカット実践の技 術、実践	大塚・佐々木
83～84	ヘアカッティング	モデルウィッグ(オールウェーブ用)のカット実践の技 術、実践	大塚・佐々木
85～86	ヘアカッティング	モデルウィッグ(オールウェーブ用)のカット実践の技 術、実践	大塚・佐々木
87～88	ヘアカッティング	モデルウィッグ(オールウェーブ用)のカット実践の技 術、実践	大塚・佐々木
89～90	アップスタイリング	ヘアピンの留め方 逆毛の立て方	大塚
91～92	シャンプー	シャンプーイング (ファーストシャンプー) 実践	大塚・佐々木
93～94	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ(シェープの引き方)展示・実施	大塚・茅原
95～96	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ(シェープ、リッジ作り方)展示・ 実施	大塚・茅原
97～98	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ(6線 1・2線目)展示・実施	大塚・茅原
99～100	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ (6線 3・4線目) 展示・実施	大塚・茅原

101～102	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線1・2・3・4線目）展示・実施	大塚・茅原
103～104	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線 5・6線目）展示・実施	大塚・茅原
105～106	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）展示・実施	大塚・茅原
107～108	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
109～110	ワインディング	国家試験課題 全頭45分	大塚・佐々木
111～112	アップスタイリング	ホットカーラー・ヘアアイロンを使用時のスタイリング	大塚
113～114	ワインディング	国家試験課題 全頭45分	大塚・佐々木
115～116	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
117～118	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）展示・実施	松岡・茅原
119～120	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）展示・実施	松岡・茅原
121～122	ワインディング	国家試験課題 全頭45分	大塚・佐々木
123～124	ワインディング	国家試験課題 全頭45分	大塚・佐々木
125～126	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	松岡・大塚
127～128	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
129～130	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
131～132	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
133～134	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
135～136	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
137～138	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント マッサージ基本手技 軽擦法 (1)	大塚
139～140	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
141～142	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
143～144	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
145～146	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施	大塚・茅原
147～148	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・茅原
149～150	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
151～152	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木

153～154	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
155～156	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
157～158	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚
159～160	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント マッサージ基本手技 軽擦法（2）	大塚
161～162	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
163～164	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
165～166	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
167～168	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
169～170	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施50分	大塚・佐々木
171～172	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施45分	大塚・佐々木
173～174	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
175～176	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
177～178	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
179～180	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
181～182	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
183～184	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
185～186	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施45分	大塚・佐々木
187～188	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施45分	大塚・佐々木
189～190	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ（6線・クロッキノールカール）実施45分	大塚・佐々木
191～192	シャンプー	シャンプーイング（ファーストシャンプー）実践	大塚・佐々木
193～194	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
195～196	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
197～198	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント マッサージ基本手技 軽擦法 試験	大塚・佐々木
199～200	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
201～202	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木

203～204	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
205～206	ワインディング	国家試験課題 全頭40分	大塚・佐々木
207～208	シャンプー	シャンプーイング (ファーストシャンプー) 試験	大塚・佐々木
209～210	ワインディング	国家試験課題 全頭40分試験	大塚・茅原
211～212	エステティック	ウィッグでのフェイシャルトリートメント マッサージ基本手技 軽擦法復習	大塚
213～214	ワインディング	国家試験課題 全頭35分	大塚・佐々木
215～216	ワインディング	国家試験課題 全頭35分	大塚・佐々木
217～218	ヘアセッティング	ピンカールフロントスカルプチュアカール技術展示・実施	大塚・佐々木
219～220	ヘアセッティング	ピンカールフロントスカルプチュアカール技術展示・実施	大塚・佐々木
221～222	エステティック	相モデルで クレンジング～マッサージ 軽擦法～スチームタオル拭き取り～仕上げ	大塚
223～224	ヘアセッティング	ピンカール3線目スカルプチュアカール技術展示・実施	大塚・佐々木
225～226	ヘアセッティング	ピンカール3線目スカルプチュアカール技術展示・実施	大塚・佐々木
227～228	ヘアセッティング	ピンカール4線目リフトカール技術展示・実施	大塚・佐々木
229～230	ヘアセッティング	ピンカール4線目リフトカール技術展示・実施	大塚・佐々木
231～232	エステティック	相モデルで クレンジング～マッサージ 軽擦法～スチームタオル拭き取り～仕上げ	大塚
233～234	ワインディング	国家試験課題 全頭35分	大塚・佐々木
235～236	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 展示・実践	大塚・佐々木
237～238	ヘアセッティング	ピンカール5線目リフトカール技術展示・実施	大塚・佐々木
239～240	ヘアセッティング	ピンカール5線目リフトカール技術展示・実施	大塚・佐々木

【授業計画】後期

回	項目	内容	担当者名
1～2	エステティック	相モデルで クレンジング～マッサージ 軽擦法～スチームタオル拭き取り～仕上げ	大塚
3～4	ワインディング (オールパーパス)	全頭40分	大塚・ 佐々木
5～6	ワインディング (オールパーパス)	全頭40分	大塚・ 佐々木
7～8	ワインディング (オールパーパス)	全頭40分	大塚・ 佐々木
9～10	ワインディング (オールパーパス)	全頭40分	大塚・ 佐々木
11～12	エステティック	相モデルで クレンジング～マッサージ 軽擦法～スチームタオル拭き取り～仕上げ 試験	大塚
13～14	ヘアセッティング	ピンカール6線目メイボールカール技術展示・実施	大塚・ 佐々木
15～16	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 展示・実践	大塚・ 佐々木
17～18	ヘアカッティング	カット理論・シザーズの扱い方・シザーズ開閉・ブラ シの扱い方	大塚・ 佐々木
19～20	ヘアカッティング	ワンレングス	大塚・ 佐々木
21～22	エステティック	相モデルで クレンジング～マッサージ 軽擦法～スチームタオル拭き取り～仕上げ 試験	大塚
23～24	ワインディング	オールパーパス ブロッキングの取り方 全頭巻	大塚・ 佐々木
25～26	ワインディング	オールパーパス バランスのとり方と諸注意 全頭40 分	大塚・ 佐々木
27～28	ヘアセッティング	ピンカール6線目メイボールカール技術展示・実施	大塚・ 佐々木
29～30	ヘアセッティング	ウェーブ、ピンカール技術の確認	大塚・ 佐々木
31～32	シャンプー	シャンプーイング (ファーストシャンプー) 展示・実 践	大塚・ 佐々木
33～34	アップスタイリング	合わせスタイル1	松岡
35～36	アップスタイリング	合わせスタイル2	松岡
37～38	ヘアセッティング	全頭45分	大塚・ 佐々木
39～40	ヘアセッティング	全頭45分	大塚・ 佐々木
41～42	ヘアカッティング	ワンレングス	大塚・ 佐々木
43～44	アップスタイリング	合わせスタイル3	松岡
45～46	アップスタイリング	合わせスタイル4	松岡
47～48	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・ 佐々木

49～50	シャンプー	シャンプーイング（セカンドシャンプー）展示・実践	大塚・佐々木
51～52	ヘアカッティング	ワンレングス	大塚・佐々木
53～54	アップスタイリング	夜会スタイル1	松岡
55～56	アップスタイリング	夜会スタイル2	松岡
57～58	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	松岡
59～60	ヘアカッティング	グラデーション	大塚・佐々木
61～62	シャンプー	シャンプーイング（セカンドシャンプー）展示・実践	大塚・佐々木
63～64	ヘアカッティング	グラデーションボブ	大塚・佐々木
65～66	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
67～68	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
69～70	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
71～72	アップスタイリング	夜会スタイル3	松岡
73～74	アップスタイリング	夜会スタイル4	松岡
75～76	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
77～78	シャンプー	シャンプーイング（セカンドシャンプー）展示・実践	大塚・佐々木
79～80	パーマネントウェーブ	デザイン巻1・ヘルプの仕方・1液、2液操作・テストカール	大塚・佐々木
81～82	ヘアカッティング	ボブスタイル1	大塚・佐々木
83～84	ワインディング	デザイン巻2	大塚・佐々木
85～86	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
87～88	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
89～90	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
91～92	ヘアカッティング	ボブスタイル2	大塚・佐々木
93～94	ワインディング	デザイン巻3	大塚・佐々木
95～96	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
97～98	アップスタイリング	編み込みスタイル1	松岡
99～100	アップスタイリング	編み込みスタイル2	松岡

101～102	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
103～104	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
105～106	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
107～108	ヘアカッティング	レイヤー	大塚・佐々木
109～110	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
111～112	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
113～114	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
115～116	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
117～118	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
119～120	ヘアセッティング	全頭35分	大塚・佐々木
121～122	ヘアセッティング	フィンガーウェーブ (6線・クロッキノールカール) 実施50分	大塚・佐々木
123～124	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
125～126	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
127～128	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
129～130	ヘアカッティング	レイヤー	大塚・佐々木
131～132	アップスタイリング	編み込みスタイル3	松岡
133～134	アップスタイリング	編み込みスタイル4	松岡
135～136	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
137～138	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
139～140	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
141～142	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
143～144	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
145～146	ヘアカッティング	レイヤー	大塚・佐々木
147～148	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
149～150	ワインディング	オールパーパス 全頭35分	大塚・佐々木
151～152	ワインディング	オールパーパス 全頭35分 チェック試験	大塚・佐々木

153～154	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
155～156	ヘアカッティング	セიმレングスレイヤー	大塚・佐々木
157～158	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
159～160	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
161～162	シャンプー	技術復習	大塚・佐々木
163～164	ワインディング	国家試験課題 全頭30分	大塚・佐々木
165～166	ワインディング	国家試験課題 全頭30分	大塚・佐々木
167～168	ヘアカッティング	セიმレングスレイヤー	大塚・佐々木
169～170	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
171～172	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
173～174	アップスタイリング	アップスタイリング復習	松岡
175～176	アップスタイリング	アップスタイリング復習	松岡
177～178	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 試験25分	大塚・佐々木
179～180	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
181～182	ヘアカッティング	セიმレングスレイヤー	大塚・佐々木
183～184	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
185～186	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
187～188	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
189～190	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
191～192	ヘアセッティング	全頭30分	大塚・佐々木
193～194	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
195～196	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
197～198	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	大塚・佐々木
199～200	ヘアセッティング	試験 7段構成 全頭30分	大塚・佐々木
201～202	ワインディング	国家試験課題試験 全頭25分	大塚・佐々木
203～204	ヘアカッティング	試験 (ボブスタイル又はレイヤースタイル)	大塚・佐々木

205～206	アップスタイリング	試験（合わせ又は夜会を使用したデザイン）	大塚・ 佐々木
207～208	ワインディング	国家試験課題 全頭25分 復習	大塚・ 佐々木
209～210	ヘアセッティング	全頭30分 復習	大塚・ 佐々木

## 【選択科目】人文科学

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	人文化学
開講年次	1年次（前後期）
授業時間（単位）	60時間/2単位
担当者	坂井裕子* （*の付いている教員は、航空会社において客室乗務員としての実務経験を有しており、当該授業における社会人としての基本マナーを指導する）
区分	選択
授業形式	講義・実習
資格対応	-

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー（日本理容美容教育センター）</li> <li>・ケースで学ぶ理美容業の接遇マナー（早稲田教育出版）</li> <li>・失敗しない敬語力（日本マネジメントリサーチ）</li> </ul>
------------------	---

授業の概要	社会人として求められる基本、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・立ち居振舞い等の一般常識を習得させる。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	ビジネスマナーが何故、必要なのか考えさせ重要性を理解させる。	
到達目標	社会人としての基本マナーを美容の現場で役立つ実践力を身につけさせる。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	社会人としての基本	社会人として心がけること、気を付けるべきことを学ぶ	坂井
3～4	社会人としての基本	職場での基本モラルについて考える。ルールとマナー基本行動について理解させる	坂井
5～6	社会人としての基本	仕事に対する基本姿勢について考えさせ、重要性を理解させる	坂井
7～8	社会人としての基本	職場での身だしなみファッション・マナーについて考える	坂井
9～10	社会人としての基本	職場での人間関係の必要性和築くための行動を学ぶ	坂井
11～12	正しい動作	挨拶、お辞儀についての正しい動作を学ぶ	坂井
13～14	正しい動作	挨拶、お辞儀の実践トレーニング	坂井
15～16	言葉づかい	聞き方、話し方の基本、言葉遣いの留意点 仕事でのコミュニケーションの基本を学ぶ	坂井
17～18	言葉づかい	敬語の種類と使い分けを学ぶ	坂井
19～20	接客の基礎	お客さまとの会話、接遇話法、社内コミュニケーションの実践トレーニング（1）	坂井
21～22	接客の基礎	お客さまとの会話、接遇話法、社内コミュニケーションの実践トレーニング（2）	坂井
23～24	接客の基礎	サロンでの接客の基礎（接遇の心構え、お迎えからお見送りまでの接客対応）	坂井
25～26	接客の基礎	お迎えからお見送りまでの接客対応の実践トレーニング	坂井
27～28	電話対応の基礎	電話対応の基礎（電話の受け方）	坂井
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	坂井
31～32	接客の実践	実践トレーニング（予約を受ける、アクセスのご案内各種問い合わせ） 1回目	坂井
33～34	接客の実践	実践トレーニング（予約を受ける、アクセスのご案内各種問い合わせ） 2回目	坂井
35～36	一般常識、マナー	名刺の渡し方、受け方、整理等の理解と実践トレーニング	坂井
37～38	一般常識、マナー	席次について学ぶ	坂井
39～40	一般常識、マナー	冠婚葬祭	坂井
41～42	採用選考対策	S P I 対策 1	坂井
43～44	採用選考対策	S P I 対策 2	坂井
45～46	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接遇マナー（1）	坂井
47～48	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接遇マナー（2）	坂井
49～50	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接遇マナー（3）	坂井
51～52	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接遇マナー（4）	坂井

53～54	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー（5）	坂井
55～56	接客の実践・応用	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー（6）	坂井
57～58	目標設定・振り返り	自己実現について考える	坂井
59～60	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	坂井

【選択課目】美容サロンワーク

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容サロンワーク
開 講 年 次	1年次（前後期）
授 業 時 間（単位）	60時間/2単位
担 当 者	大塚日富美*、羽賀葵*、小河原正輝*、大場利良*、 （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	-

教科書 （出版（発行所）	必要に応じ資料配布
-----------------	-----------

授業の概要	現在美容サロンで行われている美容師が情報発信するための様々な活動、技術を習得する。また美容業界の現状と未来をを考える。	
授業方法	常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。現在美容サロンで行われている美容師が情報発信するための様々な活動、技術を習得する。また美容業界の現状と未来をを考える。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。実際のサロンにてインターンシップを行う。	
教育目標	美容に関する応用理論と知識を学びながらサロン技術を主眼に置きながら実践的な技術を導入し技術力を蓄積していく。美容業界のリアルな現状と学生が描いている美容業界とのギャップを埋める。	
到達目標	就職後すみやかにサロンでの指導を受け入れられるための技術を習得する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	アップスタイリング	ブロッキング・編み込み・ゴムの結び方・ローラの巻き方（展示）（実習）	大塚・羽賀
3～4	アップスタイリング	合わせデザイン（実習）（採点）（講評）	大塚・羽賀
5～6	アップスタイリング	夜会巻き（実習）（採点）（講評）	大塚・羽賀
7～8	アップスタイリング	シニヨンデザイン（展示）（実習）	大塚・羽賀
9～10	アップスタイリング	シニヨンデザイン（実習）（採点）（講評）	大塚・羽賀
11～12	アップスタイリング	ボンパドルデザイン（実習）（採点）（講評）	大塚・羽賀
13～14	まとめ	試験	大塚・羽賀
15～16	美容業界研究	美容業界研究の目的	小河原
17～18	美容業界研究	美容ディーラーについて	小河原
19～20	美容業界研究	美容器具メーカーについて	小河原
21～22	美容業界研究	カリスマ美容師について	小河原
23～24	美容業界研究	ママ美容師について	小河原
25～26	美容業界研究	ヘアメイクアップアーティストについて	小河原
27～28	美容業界研究	ハイブリット美容師について	小河原
29～30	美容業界研究	海外で活躍する美容師について	小河原
31～32	美容業界研究	美容出版社から見た業界について	小河原
33～34	美容業界研究	美容業界の現状と未来	小河原
35～36	美容業界研究	まとめと発表	小河原
37～38	インターンシップ	オリエンテーション	大塚・羽賀
39～40	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
41～42	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
43～44	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
45～46	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
47～48	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
49～50	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
51～52	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀
53～54	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・羽賀

55～56	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・ 羽賀
57～58	インターンシップ	各美容所にて研修	大塚・ 羽賀
59～60	インターンシップ	発表・総括	大塚・ 羽賀

【選択課目】美容ケア（メイク）

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容ケア（メイク）
開 講 年 次	1年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	羽賀葵* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業におけるメイクアップ技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	日本メイクアップ連盟 メイクアップ3級検定

教科書 （出版（発行所））	美容技術理論2（日本理容美容教育センター）
------------------	-----------------------

授業の概要	ヘアスタイリストとしての応用技術としてメイクアップの技術を学ぶ。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	流行に敏速に対応でき、流行を創作できる感性を習得し、美容界に貢献できる人材を育成する。	
到達目標	サロンワーク応用技術（メイク）を習得する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下 *評定はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

## 【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	用具の種類	メイクに使用する用具の名称、使用方法、留意点	羽賀
3～4	スキンケア理論・実習	スキンケア実習（セルフ）	羽賀
5～6	ベースメイク理論・実習 ベースメイクデモ	ベースメイクの目的、実際の手順等の理論デモ ベースメイク（セルフ）	羽賀
7～8	スキンケア～ベースメ	スキン・ベース（相モデル）	羽賀
9～10	ポイントメイク1	アイメイク理論・実習 ベースメイクとアイメイク実習	羽賀
11～12	ポイントメイク2	アイブロー理論と実習 ベースメイク、アイメイク、アイブロー実習	羽賀
13～14	ポイントメイク3	リップメイク及び、ブラッシュオンメイク理論と実習 トータルメイクの完成	羽賀
15～16	フルメイク実習1	これまでの技術を通して行うフルメイク実習	羽賀
17～18	フルメイク実習2	これまでの技術を通して行うフルメイク実習	羽賀
19～20	フルメイク実習3	スキンケア（セルフ）ベースメイク～通し	羽賀
21～22	特殊メイク	傷、あざのメイクレッスン・ゾンビメイクなど	羽賀
23～24	3級対策1	フルメイク実習	羽賀
25～26	3級対策2	フルメイク実習	羽賀
27～28	3級対策3	フルメイク実習	羽賀
29～30	まとめ・試験	総まとめ 筆記・実技試験	羽賀

【選択課目】美容ケア（ネイル）

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容ケア（ネイル）
開 講 年 次	1年次（後期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	中村友美* （*の付いている教員は、ネイルサロンにおいてネイリストとしての実務経験を有しており、当該授業におけるネイル技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	ネイリスト技能検定3級 JNAジェルネイル技能検定初級

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術理論2（日本理容美容教育センター）</li> <li>・JNAテクニカルシステム（NPO法人日本ネイリスト協会 教育委員会）</li> </ul>
------------------	---

授業の概要	ネイル基礎理論 爪の構造、爪のトラブル、皮膚学、ネイル化粧品学、衛生学を学ぶ。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	ネイルアートに必要な基礎知識と応用技術を学び、狭い限られた空間上にいかに効果的に表現していくかを勉強してもらう。	
到達目標	正しい知識と技術を習得し、安全で安心な技術の提供ができるよう身につける。ネイルアートの様々な技術を習得、テーマに合わせた作品が作れるようにする。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	基礎理論・ジェルネイル	道具説明・爪の名称・ジェル、カラーの流れ	中村
3～4	基礎理論・ジェルネイル	プレパレーション メタルプッシャー・ファイリング・ニッパー	中村
5～6	ジェルネイル	塗りペーパーレッスン（ポリッシュ）（ライナー絵具） 5枚花・自分の手&相モデル	中村
7～8	ジェルネイル	ジェル流れ説明 実践自分・相モデル	中村
9～10	ジェルネイル	マッサージ ジェル チップにアート作成・ジェル相モデル1本作成	中村
11～12	ジェルネイル	ジェル チップにアート作成・ジェル相モデル2本作成 ジェルのオフ	中村
13～14	ジェルネイル	ジェル チップにアート作成・ジェル相モデル ジェルのオフ	中村
15～16	ジェルネイル	ジェル チップにアート作成・ジェル相モデル ジェルのオフ	中村
17～18	技能検定3級対策	検定注意事項&デモンストレーション	中村
19～20	技能検定3級対策	流れ・検定アート	中村
21～22	技能検定3級対策	消毒～ケア	中村
23～24	技能検定3級対策	カラー～アート	中村
25～26	技能検定3級対策	検定流れ	中村
27～28	技能検定3級対策	検定流れ	中村
29～30	まとめ・試験	総まとめ 筆記・実技試験	中村

## 【選択課目】創作美容

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	創作美容
開 講 年 次	1年次（後期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	大塚日富美*、大場利良*、羽賀葵*、佐々木健一* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容創作指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	-

教科書 （出版（発行所））	必要に応じ資料配布
------------------	-----------

授業の概要	ヘアスタイリストとしての基礎～応用技術を学ぶ。	
授業方法	自らの技術を把握しながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。現場経験のある実務家教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	流行に敏感に対応ができるようになり、その流行と自らの創作を表現できる感性と技術を習得する。	
到達目標	美容技術の総合力と美容造形の創作の習得。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	作品制作	グループ・テーマ決め・担当分担の振り分け	大塚・羽賀
3～4	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
5～6	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
7～8	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
9～10	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
11～12	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
13～14	作品制作	各グループにおいてテーマに従い制作	大塚・羽賀
15～16	作品制作	合同制作	大塚・羽賀
17～18	作品制作	合同制作	大塚・羽賀
19～20	作品制作	合同制作	大塚・羽賀
21～22	作品制作	合同制作	大塚・羽賀
23～24	作品制作	リハーサル	大塚・羽賀
25～26	作品制作	リハーサル	大塚・羽賀
27～28	作品制作	発表・評価	大塚・羽賀
29～30	作品制作	発表・評価・反省	大塚・羽賀

【選択課目】美容モード理論

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容モード理論
開 講 年 次	1年次（前後期）
授 業 時 間（単位）	90時間/3単位
担 当 者	大場利良*、大塚日富美*、羽賀葵*、佐々木健一* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	-

教科書 （出版（発行所）	・美容実習1（日本理容美容教育センター） ・美容実習2（日本理容美容教育センター）
-----------------	--

授業の概要	ヘアスタイル、デザインの流行を学び表現するうえで大切なベーシック技術を繰り返し行う。繰り返し行うことで、姿勢や体の使い方を体得していく。現在美容サロンで行われている美容師の情報発信するための様々な活動、技術を習得する。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	基礎技術を習得する。美容に関する応用理論と知識を学びながらサロン技術を主眼に置きながら実践的な技術を導入し技術力を蓄積していく。	
到達目標	流行で変化するモードを表現するための基礎技術を習得する。就職後すみやかにサロンでの指導を受け入れられるための技術を習得する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

## 【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・大場
3～4	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
5～6	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
7～8	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
9～10	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
11～12	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
13～14	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
15～16	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
17～18	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
19～20	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
21～22	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
23～24	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
25～26	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
27～28	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（国家試験巻き）	大塚・佐々木
29～30	まとめ・試験	試験全頭30分	大塚・大場
31～32	ヘアエクステンション技術	基本技術（付け毛の取り扱い、付け方、整え方他）	松岡
33～34	ヘアエクステンション技術	基本技術（付け毛の取り扱い、付け方、整え方他）	松岡
35～36	ヘアエクステンション技術	ウィッグを使用しての実践	松岡
37～38	ヘアエクステンション技術	ウィッグを使用しての実践	松岡
39～40	ヘアエクステンション技術	ウィッグを使用しての実践	松岡
41～42	ヘアエクステンション技術	応用技術・技術試験	松岡
43～44	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木
45～46	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木
47～48	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木
49～50	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木
51～52	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木
53～54	パーマメントウェーブ技術	基礎技術（オールパーパス巻き）	大塚・佐々木

55～56	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
57～58	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
59～60	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
61～62	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
63～64	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
65～66	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
67～68	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き)	大塚・佐々木
69～70	パーマメントウェーブ技術	基礎技術(オールパーパス巻き) 試験	大塚・佐々木
71～72	カラー	基本技術・リタッチ・ワンタッチ	羽賀・大塚
73～74	カラー	ブリーチ・マニキュア	羽賀・大塚
75～76	カラー	モデルをでのカラーの実践	羽賀・大塚
77～78	カラー・撮影	モデルでのカラーの見せ方・撮影	羽賀・大塚
79～80	カラー・撮影	モデルでのカラーの見せ方・撮影	羽賀・大塚
81～82	撮影	スマートフォン、一眼レフカメラを使用しての撮影	羽賀・大塚
83～84	撮影	撮影レクチャー・グループでの撮影	羽賀・大塚
85～86	撮影	モデル準備・仕込	羽賀・大塚
87～88	撮影	モデル準備・仕込	羽賀・大塚
89～90	撮影	ライティングなどを利用した本格的な撮影	羽賀・大塚

# 2 年 生

(2024年度入学生用)

## 【必修課目】衛生管理

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	衛生管理
開 講 年 次	2年次（後期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	大場利良
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	美容師国家試験筆記出題重点項目である公衆衛生・環境衛生、感染症、消毒法の理解を深める。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・演習問題。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> </ul>	
教育目標	国家試験に全員合格することを目指す。美容の現場で活用できる消毒技術を深める。	
到達目標	教科書記載内容の十分な理解と、その応用ができるようにして国家試験筆記合格に向けて十分な知識を身につける。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	公衆衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
3～4	公衆衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
5～6	公衆衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
7～8	公衆衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
9～10	環境衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
11～12	環境衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
13～14	環境衛生	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
15～16	感染症	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
17～18	感染症	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
19～20	感染症	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
21～22	感染症	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
23～24	衛生管理技術	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
25～26	衛生管理技術	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
27～28	衛生管理技術	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	大場

## 【必修課目】保健

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	保健
開 講 年 次	2年次（後期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	松岡実希
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
-----------------	--

授業の概要	1年次の総復習及び国家試験対策。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジユメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・演習問題</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業上の特徴から、一般の人以上に「人体の構造及び機能」や皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」についての知識が求められる。 1年次の復習を行い、基礎を固めることによって、演習で学習内容を活用できるようになる。	
到達目標	美容師国家試験保健の問題を確実に解答できる知識を身につける（過去問の内容が理解でき、全て解くことができる）。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
3～4	骨格器系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
5～6	筋系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
7～8	神経系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
9～10	感覚器系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
11～12	血液・循環器系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
13～14	呼吸器系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
15～16	消化器系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
17～18	皮膚の構造	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
19～20	膚付属器官の構造	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
21～22	皮膚の循環器系と神 経系	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
23～24	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
25～26	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能・保健	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
27～28	皮膚と皮膚付属器官 の保健	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	松岡

## 【必修課目】香粧品化学

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	香粧品化学
開 講 年 次	2年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	大場利良
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香粧品化学（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul> 参考文献：新化粧品学（南山堂）・化粧品成分ガイド（フレグランスジャーナル社）
------------------	--

授業の概要	基礎化粧品、メイクアップ化粧品、頭皮・毛髪用化粧品、芳香製品・特殊化粧品の項目にて解説する。美容師として業務上使用する化粧品に表示されている配合成分の化学的性質や配合目的などについて学ぶ。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求められることがある。</li> </ul>	
教育目標	化粧品に用いられている原料の化学的性質や配合目的などについて学び、各種化粧品の有用性、安全性および使用目的について理解を深める。国家試験に全員合格することを目指す。美容の現場で活用できる化粧品原料の理解を深める。	
到達目標	美容師国家試験化粧品化学の問題を確実に解答できる知識を身につける。美容師として化粧品に関するアドバイスが出来るよう、化粧品の有用性、安全性および使用目的に対する十分な知識を習得し、様々なことを目標とする。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	皮膚清浄用化粧品	石けんの種類とその性質・その他の清浄剤	大場
3～4	化粧水・クリーム・乳液	化粧水の種類と機能性・クリーム、乳液の種類と機能 化粧水を実際にする	大場
5～6	基礎化粧品	化粧液（美容液・美容エッセンス） シェービング用 化粧品 打粉・パック剤	大場
7～8	ベースメイクアップ 化粧品	おしろい・ファンデーション	大場
9～10	ポイントメイクアップ 化粧品	頬紅・アイメイクアップ マニキュア製品	大場
11～12	シャンプー剤・育毛剤	シャンプー・リンス・トリートメント剤・育毛剤	大場
13～14	スタイリング剤	油性・液状・高分子物質を基剤とするスタイリング剤	大場
15～16	パーマ剤	パーマ剤種類とその機能	大場
17～18	ヘアカラー製品	ヘアカラー製品の種類とその機能	大場
19～20	芳香製品・特殊化粧品	香水・オーデコロン・その他の芳香製品	大場
21～22	芳香製品・特殊化粧品	サンケア製品・美白用化粧品・制汗、防臭剤・ニキビ 用化粧品	大場
23～24	化粧品概論・化粧品 用原料	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
25～26	基礎化粧品 メイクアップ化粧品	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
27～28	頭皮・東毛用化粧品 芳香製品と特殊化粧品	演習問題を解く 解答 解説 質疑応答	大場
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	大場

## 【必修課目】文化論

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	文化論
開 講 年 次	2年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	栗本浩二
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化論（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	---

授業の概要	美容業・理容業の変遷や、日本・西洋それぞれの文化に於ける多様な美の在り方の歴史を講義形式にて学ぶ。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容業・理容業の歴史及び日本の文化史を学ぶことで、日本の様々な美の価値基準を知り、視野を広げ、創造性を高めることを目的とする。また国家資格の取得に向けて必要な文化史の知識を網羅的に学ぶ。	
到達目標	国家資格の取得に必要な文化史の知識を身に付ける。また、日本・西洋の様々な美の価値基準を知った上で、新しいデザインを創造する力を身に付ける。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト・ギリシャ	栗本
3～4	ファッション文化史	ローマ・ゲルマン、中世ヨーロッパ	栗本
5～6	ファッション文化史 西洋編	近世ⅠⅡⅢ	栗本
7～8	ファッション文化史 西洋編	近代ⅠⅡ	栗本
9～10	ファッション文化史 西洋編	現代ⅠⅡ	栗本
11～12	ファッション文化史 西洋編	現代ⅢⅣ	栗本
13～14	ファッション文化史 西洋編	現代ⅤⅥⅦ	栗本
15～16	ファッション文化史 西洋編	礼装の種類	栗本
17～18	ファッション文化史 日本編	復習・演習（日本の理容業・美容業の歴史）	栗本
19～20	ファッション文化史 日本編	復習・演習（縄文時代～安土桃山時代）	栗本
21～22	ファッション文化史 日本編	復習・演習（江戸時代～現代）	栗本
23～24	期末試験の説明、復習	復習（西洋編）	栗本
25～26	期末試験の説明、復習	復習（礼装・日本編重点箇所）	栗本
27～28	文化論総復習	まとめ（世界の様々なヘアメイク、芸術について）	栗本
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	栗本

## 【必修課目】美容技術理論

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	美容技術理論
開講年次	2年次（前期）
授業時間（単位）	90時間/3単位
担当者	大塚日富美、松岡実希、佐々木健一
区分	必修
授業形式	講義
資格対応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術理論1（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・美容技術理論2（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。	
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。</li> <li>・学期末試験とは別に学期中に小テストを行うことがありうる。</li> <li>・授業中に使用しているノートの提出を求めることがある。</li> </ul>	
教育目標	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ（基礎理論）を学習し理解することによって、美容技術の習得を容易にする。学んだ事を土台として、トータル的に美容について修得していく。国家試験に全員合格することを目指す。	
到達目標	美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術修得につなげる。美容理論を学び幅広い知識を得ることで、ワロンワークに結び付け応用することが可能になる。美容師国家試験技術理論の問題を確実に解答できる知識を身につける。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	ネイル技術	概論・技術と種類・爪の構造と機能・カット形状・手と足のマッサージ	大塚
3～4	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生・カウンセリング・ネイルケア	大塚
5～6	ネイル技術	アーティフィシャルネイル	大塚
7～8	メイクアップ	概論・スキンケア・ベースメイクアップ	大塚
9～10	メイクアップ	ポイントメイク・まつ毛エクステンション	大塚
11～12	日本髪	日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴	大塚
13～14	日本髪	日本髪と調和・装飾品・結髪道具	大塚
15～16	日本髪	結髪技術・手入れ法・かつら	大塚
17～18	着付けの理論と技術	着物のいろいろ・着物各部の名称・たたみ方	大塚
19～20	着付けの理論と技術	留袖・振袖・女子袴着付け技術と注意点	大塚
21～22	着付けの理論と技術	男子羽織、袴着付け技術・婚礼技術の注意点	大塚
23～24	着付けの理論と技術	和装	大塚
25～26	ヘアデザイン	錯覚現象・デザインの要素	大塚
27～28	ヘアデザイン	デザインの要素・デザインの原理	大塚
29～30	まとめ・筆記試験	これまでのまとめ 筆記試験	大塚
31～32	美容用具	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
33～34	美容用具	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
35～36	シャンプーイング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
37～38	シャンプーイング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
39～40	ヘアデザイン・ヘア カッティング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
41～42	ヘアデザイン・ヘア カッティング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
43～44	パーネントウェービ ング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
45～46	パーネントウェービ ング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
47～48	ヘアセッティング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
49～50	ヘアセッティング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
51～52	ヘアカラーリング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
53～54	ヘアカラーリング	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木

55～56	エステティック	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
57～58	ネイル技術	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
59～60	メイクアップ	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
61～62	メイクアップ	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
63～64	日本髪	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
65～66	着付け	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
67～68	着付け	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
69～70	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
71～72	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
73～74	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
75～76	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
77～78	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
79～80	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
81～82	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
83～84	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
85～86	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
87～88	美容技術理論全般	配布資料・問題に沿って講義・演習	松岡・佐々木
89～90	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	松岡・佐々木

## 【必修課目】 運営管理

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	運営管理
開 講 年 次	2年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	嶋田律子
区 分	必 修
授 業 形 式	講 義
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営管理（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> <li>・ワークブック（公益財団法人 日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	美容をビジネスの観点から考察しサロン経営、店舗運営に直結する講義にするとともに、最新の美容業界の動きについても伝達していく。	
授業方法	・教材及び各種資料（レジュメ）を用いて、原則として議述（講義）の形式で行う。	
教育目標	美容業界は今後ますます競争が激化していく中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識が必要不可欠である。将来サロンを持つときや店長となって店舗を管理するときに必要となる経営・マネジメントの基礎を学ぶ。	
到達目標	美容業界をビジネスの観点から考察できる力を身につけ、就職、サロン経営をおこなうときに必要な知識とビジネス感覚を養う。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	○
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	-
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、提出物の提出状況を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	美容業の現状について	美容業はどのような状況なのか	嶋田
3～4	経営管理	企業の形態・美容業と料金	嶋田
5～6	経営管理	資金の管理（簿記・税務）	嶋田
7～8	経営管理	資金の管理（簿記・税務）	嶋田
9～10	マーケティング	マーケティングの基本	嶋田
11～12	マーケティング	マーケティング・ミックスの要因（短期的）	嶋田
13～14	マーケティング	マーケティング・ミックスの要因（長期的）	嶋田
15～16	労務管理	労務管理に関する知識	嶋田
17～18	労務管理	社会保障制度	嶋田
19～20	労務管理	キャリアプランの重要性	嶋田
21～22	労務管理	健康管理とその必要性	嶋田
23～24	接客	接客の本質・店内環境	嶋田
25～26	接客	受付の役割と意味・トラブルと謝罪	嶋田
27～28	接客	将来の自らの店を考える	嶋田
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験	嶋田

## 【必修課目】美容実習

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容実習
開 講 年 次	2年次（前後期）
授 業 時 間（単位）	450時間/15単位
担 当 者	松岡実希*、茅原智美*、大塚日富美*、佐々木健一*、大場利良*（*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区 分	必 修
授 業 形 式	実 習
資 格 対 応	美容師国家試験受験資格

教科書 (出版(発行所))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容実習1（日本理容美容教育センター）</li> <li>・美容実習2（日本理容美容教育センター）</li> </ul>
------------------	--

授業の概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基本技術を効率的に習得する。ワインディングとオールウェーブセッティングは美容師国家試験課題に含まれるため重点をおく。シャンプー、ヘアカッティング、アップスタイル、着付技術等総合的に美容技術を習得する。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて現場経験のある実務家教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。	
到達目標	国家試験課題であるワインディングとオールウェーブの技術力を高める。サロンの現場にて対応できる技術力を的確に蓄積していく。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】 前期

回	項目	内容	担当者名
1～2	ワインディング	国家試験課題 1年次復習及び注意点	松岡
3～4	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	松岡
5～6	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	松岡
7～8	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	松岡
9～10	ワインディング	国家試験課題 全頭25分	松岡
11～12	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
13～14	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
15～16	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・大塚
17～18	ヘアカッティング	国家試験課題 カッティング構成と技術	松岡・茅原
19～20	ヘアカッティング	セクション別によるプロセス説明	松岡・茅原
21～22	ヘアカッティング	セクション別によるプロセス説明	松岡・茅原
23～24	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
25～26	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
27～28	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
29～30	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
31～32	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・大塚
33～34	ヘアカッティング	国家試験課題 ブロッキング実践	松岡
35～36	ヘアカッティング	国家試験課題 ブロッキング実践	松岡
37～38	ヘアカッティング	国家試験課題 カット実践 (ヘムライン・ネープ)	松岡
39～40	ヘアカッティング	国家試験課題 カット実践 (ミドル・トップ)	松岡
41～42	ヘアカッティング	国家試験課題 カット実践 (サイド・バンブ)	松岡
43～44	ヘアカッティング	国家試験課題 仕上げ、全頭復習	松岡
45～46	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・茅原
47～48	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・茅原

49～50	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・大塚
51～52	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭復習	松岡・佐々木
53～54	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭復習	松岡・佐々木
55～56	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭復習	松岡・佐々木
57～58	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭復習	松岡・佐々木
59～60	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭復習	松岡・佐々木
61～62	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・大塚
63～64	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・佐々木
65～66	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・佐々木
67～68	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・佐々木
69～70	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭30分	松岡・佐々木
71～72	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
73～74	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭28分	松岡・茅原
75～76	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭28分	松岡・茅原
77～78	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・茅原
79～80	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
81～82	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
83～84	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
85～86	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 20分	松岡・大塚
87～88	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭28分	松岡・茅原
89～90	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭28分	松岡・茅原
91～92	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
93～94	ワインディング	オールパーパス 23分	松岡
95～96	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
97～98	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
99～100	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡

101～102	ヘアセッティング	国家試験課題全頭 25分	松岡・茅原
103～104	ヘアセッティング	国家試験課題全頭 25分	松岡・茅原
105～106	ヘアセッティング	国家試験課題全頭 25分	松岡・茅原
107～108	ヘアセッティング	国家試験課題全頭 25分	松岡・茅原
109～110	ヘアセッティング	国家試験課題全頭 25分	松岡・茅原
111～112	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
113～114	ヘアカッティング	国家試験課題 30分	松岡・佐々木
115～116	ヘアカッティング	国家試験課題 30分	松岡・佐々木
117～118	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
119～120	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
121～122	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
123～124	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
125～126	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 18分	松岡・大塚
127～128	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
129～130	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
131～132	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
133～134	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
135～136	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
137～138	ヘアカッティング	国家試験課題 25分	松岡・佐々木
139～140	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡
141～142	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡
143～144	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡
145～146	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡
147～148	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 18分	松岡・大塚
149～150	着付技術	着物各部の名称・帯・小物の解説	松岡
151～152	着付技術	浴衣の着付け・着物のたたみ方	松岡

153～154	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 15分	松岡・大塚
155～156	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・佐々木
157～158	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・佐々木
159～160	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・佐々木
161～162	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
163～164	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
165～166	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 15分	松岡・大塚
167～168	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
169～170	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
171～172	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
173～174	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 15分	松岡・大塚
175～176	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
177～178	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
179～180	ワインディング	オールパーパス 20分	松岡
181～182	ワインディング	オールパーパス 20分 試験	松岡
183～184	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 15分	松岡・大塚
185～186	着付技術	浴衣の着付け	大塚
187～188	着付技術	浴衣の着付け	大塚
189～190	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡・茅原
191～192	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分 試験	松岡・大塚
193～194	着付技術	浴衣の着付け	大塚
195～196	着付技術	浴衣の着付け 試験	大塚
197～198	シャンプー	シャンプーイング (セカンドシャンプー) 15分	松岡・大塚
199～200	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭25分	松岡
201～202	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭20分 試験	松岡・大塚
203～204	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 復習	松岡

205～206	ワインディング	全頭20分	松岡
207～208	シャンプー	シャンプーイング（セカンドシャンプー） 試験15分	松岡・大場
209～210	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 試験	松岡・大場

【授業計画】後期

回	項目	内容	担当者名
1～2	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
3～4	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
5～6	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
7～8	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
9～10	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
11～12	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
13～14	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
15～16	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
17～18	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
19～20	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
21～22	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
23～24	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
25～26	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
27～28	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
29～30	アップスタイル	テーマに合わせ作品を創作し作り上げる	松岡
31～32	アップスタイル	テーマに合わせ作品を作り上げる	松岡・大場
33～34	アップスタイル	テーマに合わせ作品を作り上げる	松岡・大場
35～36	アップスタイル	作品発表・評価	松岡・大場
37～38	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡・佐々木
39～40	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡・佐々木
41～42	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡・佐々木
43～44	シャンプー・セット	シャンプーイング（セカンドシャンプー）・ブロー40分	松岡
45～46	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡
47～48	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡

49～50	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡
51～52	ワインディング	国家試験課題 全頭20分 復習及び注意点の確認	松岡
53～54	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分 復習及び注意点の確認	松岡・茅原
55～56	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分 復習及び注意点の確認	松岡・茅原
57～58	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分 復習及び注意点の確認	松岡・茅原
59～60	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭25分 復習及び注意点の確認	松岡・茅原
61～62	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
63～64	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
65～66	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
67～68	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
69～70	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
71～72	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
73～74	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
75～76	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
77～78	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
79～80	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
81～82	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
83～84	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
85～86	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
87～88	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
89～90	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
91～92	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
93～94	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
95～96	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
97～98	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
99～100	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木

101～102	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
103～104	国家試験課題	第一課題 タイム取り作成・評価	松岡・佐々木
105～106	国家試験課題	第二課題 タイム取り作成・評価	松岡・大塚
107～108	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
109～110	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
111～112	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
113～114	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
115～116	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
117～118	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
119～120	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
121～122	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
123～124	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
125～126	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
127～128	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
129～130	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
131～132	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
133～134	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
135～136	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
137～138	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
139～140	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
141～142	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
143～144	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
145～146	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
147～148	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
149～150	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
151～152	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚

153～154	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
155～156	国家試験課題	第一課題・第二課題通し	松岡・大塚
157～158	ワインディング	国家試験課題 全頭 19分 試験	松岡・大塚
159～160	ヘアカッティング	国家試験課題 全頭 19分 試験	松岡・佐々木
161～162	ヘアセッティング	国家試験課題 全頭 23分 試験	松岡・大塚
163～164	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
165～166	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
167～168	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
169～170	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
171～172	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
173～174	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
175～176	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
177～178	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
179～180	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
181～182	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー40分	松岡・大塚
183～184	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
185～186	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
187～188	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
189～190	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
191～192	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
193～194	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
195～196	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
197～198	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
199～200	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
201～202	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚
203～204	シャンプー・セット	シャンプーイング (セカンドシャンプー) ・ブロー35分	松岡・大塚

205～206	シャンプー・セット	シャンプーイング（セカンドシャンプー）・ブロー35分	松岡・大塚
207～208	シャンプー・セット	シャンプーイング（セカンドシャンプー）・ブロー試験	松岡・大塚
209～210	着付技術	留袖着付け	大塚
211～212	着付技術	留袖着付け	大塚
213～214	着付技術	留袖着付け	大塚
215～216	着付技術	羽織・袴着付け	大塚
217～218	着付技術	羽織・袴着付け	大塚
219～220	着付技術	まとめ・技術試験	大塚
221～222	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
223～224	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
225～226	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
227～228	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
229～230	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
231～232	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
233～234	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
235～236	まつ毛エクステンション	基本装着・リムーブレッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
237～238	まつ毛エクステンション	基本装着・リムーブレッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
239～240	まつ毛エクステンション	まとめ・技術試験	松岡

【選択課目】美容サロンワーク

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容サロンワーク
開 講 年 次	2年次（前後期）
授 業 時 間（単位）	60時間/2単位
担 当 者	大場利良*、松岡実希*、大塚日富美* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	-

教科書 （出版（発行所）	必要に応じ資料配布
-----------------	-----------

授業の概要	現在美容サロンで行われている美容師が情報発信するための様々な活動、技術を習得する。お互いに技術者、お客様となり美容サロンを想定し実践的技術を行っていく。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。サロンにてインターンシップを行う。	
教育目標	美容に関する応用理論と知識を学びながらサロン技術を主眼に置きながら実践技術を導入し技術力を蓄積していく。美容に関する応用理論と知識を学びながらサロン技術を主眼に置きながら実践的な技術を導入し技術力を蓄積していく。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	インターンシップ	オリエンテーション	大場
3～4	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
5～6	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
7～8	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
9～10	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
11～12	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
13～14	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
15～16	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
17～18	インターンシップ	各美容所にて研修	松岡
19～20	インターンシップ	発表・総括	松岡
21～22	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
23～24	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
25～26	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
27～28	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
29～30	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
31～32	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
33～34	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
35～36	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
37～38	サロンワーク技術	シャンプー・ブロー技術	松岡・大塚
39～40	サロンワーク技術	ハンドマッサージ技術・ネイル技術	松岡・大塚
41～42	サロンワーク技術	ハンドマッサージ技術・ネイル技術	松岡・大塚
43～44	サロンワーク技術	エクステンション技術	松岡・大塚
45～46	サロンワーク技術	エクステンション技術	松岡・大塚
47～48	サロンワーク技術	ヘアアレンジ技術	松岡・大塚
49～50	サロンワーク技術	ヘアアレンジ技術	松岡・大塚
51～52	サロンワーク技術	ヘアアレンジ技術	松岡・大塚
53～54	サロンワーク技術	美容サロンを想定しての接客・技術の実践	松岡・大塚

55～56	サロンワーク技術	美容サロンを想定しての接客・技術の実践	松岡・大塚
57～58	サロンワーク技術	美容サロンを想定しての接客・技術の実践	松岡・大塚
59～60	まとめ	美容サロンを想定しての接客・技術の実践・試験	松岡・大塚
59～60	インターンシップ	発表・総括	松岡・大塚

【選択課目】美容ケア（メイク）

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	美容ケア（メイク）
開 講 年 次	2年次（前期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	松岡実希* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業におけるメイクアップ技術の実習を指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	日本メイクアップ連盟 メイクアップ2級検定

教科書 （出版（発行所））	美容技術理論2（日本理容美容教育センター）
------------------	-----------------------

授業の概要	モードメイクアップ・ステージメイクアップ・ブライダルメイクアップ他、各自の感性と創造性を生かした作品研究をし、あらゆる場面や個性に対応出来る技術と共に人間性やマナーも習得する。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	流行に敏速に対応でき、流行を創作できる感性を習得し、美容界に貢献できる人材を育成する。	
到達目標	基礎知識をベースにし、ヘアメイクアップアーティストに必要な必要な気配り、心構えを育み、ショーやステージ等の現場に即した実践的なメイクアップを学ぶ。応用編としてTPOに応じたより高度なメイクアップテクニックを研究練磨する。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

## 【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	レベルチェック	検定3級レベルでのフルメイクチェック スキンケア～フルメイクまで	松岡
3～4	修正メイク	ファンデーションの多色塗り、ポイント メイクにおける修正メイク等	松岡
5～6	雑誌模写メイク	10代、20代の雑誌を元にした模写メイク	松岡
7～8	印象別メイク1	修正メイク等で学んだ技術から、 ソフトな印象のメイクアップを行う	松岡
9～10	印象別メイク2	修正メイク等で学んだ技術から、 シャープな印象のメイクアップを行う	松岡
11～12	雑誌模写メイク2	雑誌を元にした模写メイク	松岡
13～14	シーン別メイクアッ プ	ウエディング和装・洋装メイクのメイクレッスン	松岡
15～16	雑誌模写メイク3	雑誌を元にした模写メイク	松岡
17～18	印象別メイク3	キュートもしくは、エレガントなメイクいずれかに仕 上げる	松岡
19～20	舞台メイク	キャッツのメイクを相モデルにて行う ガイコツ・かぶきメイクなど	松岡
21～22	舞台メイク	宝塚メイク	松岡
23～24	検定2・3級対策	検定におけるメイクアップの試験のポイントを中心に レッスン	松岡
25～26	検定2・3級対策	検定におけるメイクアップの試験のポイントを中心に レッスン	松岡
27～28	検定2・3級対策	検定におけるメイクアップの試験のポイントを中心に レッスン	松岡
29～30	まとめ・筆記試験	総まとめ 筆記試験・実技試験	松岡

## 【選択課目】創作美容

埼玉東萌美容専門学校

課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	創作美容
開 講 年 次	2年次（後期）
授 業 時 間（単位）	30時間/1単位
担 当 者	松岡実希*、大場利良*、大塚日富美* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容創作指導する）
区 分	選 択
授 業 形 式	講 義・実 習
資 格 対 応	-

教科書 （出版（発行所）	必要に応じ資料配布
-----------------	-----------

授業の概要	ヘアスタイリストとしての基礎～応用技術を学ぶ。	
授業方法	自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	流行に敏感に対応ができるようになり、その流行と自らの創作を表現できる感性と技術を習得する。	
到達目標	美容技術の総合力と美容造形の創作の習得。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	カッティングテクニク①	レイヤー グラデーション	松岡・佐々木
3～4	カッティングテクニク②	ストロークカット、エフェクトカット他	松岡・佐々木
5～6	カッティングテクニク③	クリッパーワーク	松岡・佐々木
7～8	カッティングテクニク④	応用技術	松岡・佐々木
9～10	カッティングテクニク⑤	技術試験	松岡・佐々木
11～12	特殊系ヘア技術①	コーンロー、ドレット他	松岡
13～14	特殊系ヘア技術②	応用技術 ・ 技術試験	松岡・大場
15～16	サロン・パーマテクニク①	応用技術	松岡・羽賀
17～18	サロン・パーマテクニク②	応用技術	松岡・羽賀
19～20	サロン・パーマテクニク③	応用技術	松岡・羽賀
21～22	サロン・パーマテクニク④	応用技術 ・ 技術試験	松岡・大場
23～24	サロン・カラーテクニク①	ウィービング・他テクニク	松岡・羽賀
25～26	サロン・カラーテクニク②	ウィービング・他テクニク	松岡・羽賀
27～28	サロン・カラーテクニク③	ウィービング・他テクニク	松岡・羽賀
29～30	サロン・カラーテクニク④	応用技術 ・ 技術試験	松岡・大場

【選択課目】美容モード理論

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	美容モード理論
開講年次	2年次（前後期）
授業時間（単位）	60時間/2単位
担当者	松岡実希*、大場利良*、大塚日富美* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区分	選択
授業形式	講義・実習
資格対応	-

教科書 （出版（発行所））	・美容実習1（日本理容美容教育センター） ・美容実習2（日本理容美容教育センター）
------------------	--

授業の概要	鉛筆によるデッサンの描き方を学ぶ。色彩の基礎的な知識を、絵具の混色などの実践を交えながら学ぶ。ヘアスタイル、デザインの流行を学び表現するうえで大切なベーシック技術を繰り返し行う。繰り返し行うことで、姿勢や体の使い方を体得していく。	
授業方法	授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて実務経験のある教員が、美容現場を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。	
教育目標	技術的なデッサン力(描写力)を培うことで、物を深く視る力を養う。また、自由な発想力や想像力を鍛え、自分のイメージを人に伝える表現力を身に付ける。色彩論(色の仕組み)を学び、色を効果的に使うための基礎的な色彩知識を身に付ける。国家試験実技合格ができる技術を習得する。	
到達目標	流行で変化するモードを表現するための基礎技術を習得する。デッサン力、発想力、表現力の向上。色彩の基礎知識の理解。	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	-
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。	
評価基準	A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。	

【授業計画】

回	項目	内容	担当者名
1～2	ヘアデザイン	錯覚現象・デザインの要素	松岡
3～4	ヘアデザイン	デザインの要素・デザインの原理	松岡
5～6	ヘアデザイン	デッサン基礎、写真模写の仕方）、写真模写（提出）	松岡
7～8	ヘアデザイン	デッサン基礎、写真模写の仕方）、写真模写（提出）	松岡
9～10	ヘアデザイン	デッサン基礎、写真模写の仕方）、写真模写（提出）	松岡
11～12	ヘアデザイン	デッサン基礎、写真模写の仕方）、写真模写（提出）	松岡
13～14	ヘアデザイン	アイディアスケッチ	松岡
15～16	ヘアデザイン	アイディアスケッチ	松岡
17～18	ヘアデザイン	アイディアスケッチ	松岡
19～20	色彩論	色相環・補色チャートの作成	松岡
21～22	色彩論	色相環・補色チャートの作成	松岡
23～24	色彩論	色相環・補色チャートの作成	松岡
25～26	色彩論	色彩構成	松岡
27～28	色彩論	色彩構成	松岡
29～30	まとめ・試験	アイディアスケッチ、講評会	松岡・大場
31～32	ヘアカッティング	創作カット	松岡・羽賀
33～34	ヘアカッティング	創作カット	松岡・羽賀
35～36	ヘアカッティング	創作カット	松岡・羽賀
37～38	ヘアカッティング	創作カット	松岡・羽賀
39～40	ヘアカッティング	創作カット	松岡・羽賀
41～42	まとめ・試験	創作カット（60分）	松岡・大場
43～44	パーマメントウェーブ技術	創作パーマメントデザイン	大場
45～46	パーマメントウェーブ技術	創作パーマメントデザイン	大場
47～48	パーマメントウェーブ技術	創作パーマメントデザイン	大場
49～50	パーマメントウェーブ技術	創作パーマメントデザイン	大場

51～52	パーマネント ウェーブ技術	創作パーマネントデザイン	大場
53～54	パーマネント ウェーブ技術	創作パーマネントデザイン	大場
55～56	パーマネント ウェーブ技術	創作パーマネントデザイン	大場
57～58	パーマネント ウェーブ技術	創作パーマネントデザイン	大場
59～60	まとめ・試験	創作パーマネントデザイン	松岡・ 大場

## 【選択課目】美容総合技術

埼玉東萌美容専門学校

課程	昼間課程
所属科	美容科
教科名	美容総合技術
開講年次	2年次（前期）
授業時間（単位）	120時間/4単位
担当者	松岡実希*、吉越葉真子* <sup>1</sup> 、澤田綾美、大場利良* （*の付いている教員は、美容所において美容師としての実務経験を有しており、当該授業における美容技術の実習を指導する）
区分	選択
授業形式	講義・実習
資格対応	美容師国家試験受験資格

教科書 （出版（発行所）	必要に応じ資料配布
-----------------	-----------

授業の概要	<p>髪の毛や肌は体の中の状態と深く関連していることを学ぶ。体の質を知りそれに合わせたケアの方法を理解することにより、体を改善しベストな健康状態を生み出す方法を学ぶ。免疫力や機能を高め健康な体を作る基本は食事であることを理解し、食材の効能や選び方を学ぶ。心身のバランスを整え、心身両面からケアするヨガを学ぶ。ニーズの高いサロンメニューの技術を理解し、ヘアトリートメント、ヘッドスパ、まつ毛エクステンションの知識・技術を学ぶ。国家試験筆記対策についても行う。</p>	
授業方法	<p>授業方法の基本は実習である。技術の展示、技術ポイントをについて講義を行うこともある。常に自らの技術を把握をしながら実習に取り組み総合的な力に繋げる。美容所にて実務経験のある教員が、美容現場における事例を含めながら助言等をしていく。国家試験筆記対策については過去問題の実践・解説を繰り返し行っていく。</p>	
教育目標	<p>美容全般の基本技術や知識を習得した上で、さらに体の外面は体の内面と深く結びついていることを理解し、体の内面にも注目し「美と健康（インナービューティー）」に関する総合的な美容技術を学ぶ。外面だけでなく内面からの美を追求する姿勢を身に付け、心身ともに健康的な美容師になることを目指す。さらに、ニーズの高いサロンメニューに対応する知識と技術を習得し実践力を身に付ける。</p>	
到達目標	<p>外面だけでなく内面からの美を追求する姿勢を身に付け、心身ともに健康的な美容師を目指す。</p>	
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク	○
	プレゼンテーション	-
	ディスカッション・ディベート	-
	実習	○
評価方法	<p>定期試験、授業の出欠状況、受講態度、毎時間の技術評価を総合して数値化し評価基準に照らし合わせて判定する。</p>	
評価基準	<p>A：100～80点　B：79～70点　C：69～60点　D：59点以下 *評価はC以上を合格とする。 *授業の出席状況および受講態度を重視する。</p>	

【授業計画】 前期

回	項目	内容	担当者名
1～2	身体の内面の美容学 (1)	ヨガ	吉越
3～4	身体の内面の美容学 (2)	ヨガ	吉越
5～6	身体の内面の美容学 (3)	ヨガ	吉越
7～8	身体の内面の美容学 (4)	食事学 ・ 食材の効能 体の質に合った食材選び	澤田
9～10	身体の内面の美容学 (5)	調理実習	澤田
11～12	身体の内面の美容学 (6)	調理実習 ・ 評価	澤田
13～14	身体の内面の美容学 (7)	体の質を知る 体の質に合わせたケアの方法	澤田
15～16	身体の内面の美容学 (8)	ヨガ	吉越
17～18	身体の内面の美容学 (9)	ヨガ	吉越
19～20	身体の内面の美容学 (10)	ヨガ	吉越
21～22	身体の内面の美容学 (11)	食事学 ・ 食材の効能 体の質に合った食材選び	澤田
23～24	身体の内面の美容学 (12)	調理実習	澤田
25～26	身体の内面の美容学 (13)	調理実習 ・ 評価	澤田
27～28	身体の内面の美容学 (14)	ヨガ まとめ評価	吉越
29～30	スキャルプケア ヘアケア	ヘッドスパ技術	松岡・ 羽賀
31～32	スキャルプケア ヘアケア	ヘッドスパ技術	松岡・ 羽賀
33～34	スキャルプケア ヘアケア	ヘッドスパ技術	松岡・ 羽賀
35～36	スキャルプケア ヘアケア	ヘッドスパ技術	松岡・ 羽賀
37～38	スキャルプケア ヘアケア	ヘッドスパ技術	松岡・ 羽賀
39～40	スキャルプケア ヘアケア	ヘアトリートメント技術	松岡・ 羽賀
41～42	スキャルプケア ヘアケア	ヘアトリートメント技術	松岡・ 羽賀
43～44	スキャルプケア ヘアケア	ヘアトリートメント技術	松岡・ 羽賀
45～46	スキャルプケア ヘアケア	スキャルプケアヘアケア まとめ・技術試験	松岡・ 羽賀
47～48	まつ毛エクステン ション	まつ毛概論・商材学	松岡
49～50	まつ毛エクステン ション	テープ貼り・ツイザーワーク基礎(ウィッグ・相モデル)	松岡

51～52	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
53～54	まつ毛エクステンション	基本装着レッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
55～56	まつ毛エクステンション	基本装着・リムーブレッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
57～58	まつ毛エクステンション	基本装着・リムーブレッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
59～60	まつ毛エクステンション	基本装着・リムーブレッスン(ウィッグ・相モデル)	松岡
61～62	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
63～64	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
65～66	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
67～68	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
69～70	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
71～72	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
73～74	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
75～76	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
77～78	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
79～80	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・大場
81～82	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
83～84	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
85～86	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
87～88	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
89～90	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
91～92	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
93～94	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
95～96	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
97～98	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
99～100	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
101～102	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
103～104	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木

105～106	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
107～108	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
109～110	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
111～112	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
113～114	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
115～116	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
117～118	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木
119～120	国家試験受験対策	美容師国家試験筆記過去問題の実践・解説	松岡・佐々木